

平成29年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立太田小学校
作成日	平成30年(2018年) 2月28日

1 教育目標

創造的な知性と豊かな情操に根ざして、自他の人格を尊重し、正しく強く生きぬくたくましい人間の育成をめざす。

2 学校の自己評価についてのご意見

	地域とともにある学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・より開かれた学校づくりを行うために、情報を積極的に発信し、保護者、地域社会との密接な連携を図ろうとしていることは重要である。 ・学校開放月間等を活用し、学校教育活動についての理解を深めることは大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と教職員の信頼関係、児童同士の仲間意識づくりなどをはかりながら体験活動と道徳的実践力の育成をめざすことは重要である。 ・環境を整備することは、学校生活の土台である。 ・読書活動やあいさつ運動は、心豊かな子供を育むために大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず基礎基本の定着を図り、国語科を核とし、学力の向上に地道に取り組み、着実に成果をあげていることは高く評価できる。 ・取出し指導やTT指導、不登校支援等、個に応じた指導支援に努めている。
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりやホームページで多様な情報を発信している。 ・高齢者や地域との交流、ゲストティーチャーの活用等、精力的に取り組んでいる。地域性もあるが、さらに地域との連携が深まればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動は子どもたちがアイデアをだし、効果を上げている点は素晴らしい。 ・読書が好きと答えている子供の割合が昨年度より増加していることから、読書活動の推進の取り組みを継続してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県・市の指導主事の先生方の指導を仰ぎながら、前向きに研究推進に取り組む姿勢がみられる。 ・基礎学力の定着を図るための様々な取り組み(漢字検定、太田タイムの活用、自主勉、復習プリント等)を行っている。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育資源の活用、交流等への参加数は昨年度より増加し、取り組みが進んでいる。 ・学校は、ホームページを定期的に更新し、行事や活動の内容が具体的に分かるように、今後も継続して取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度から道徳が教科化される。より実践力の伴う子供の育成に力を入れてほしい。 ・環境整備・体験活動・読書活動等において実践の成果が顕著にみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろの学習態度のみならず、全国や県の学力調査においても結果が出ている。先生方が日々指導の工夫を行い「わかる授業」を実践してくれている。 ・自主勉強のコメントは、子どもの意欲づけになっている。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自治会に協力依頼し、回覧板を通じて、学校の情報発信してほしい。 ・今後も地域との連携を深め、開かれた学校づくりをより一層推進していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心を育むには、子どもの自己肯定感を高めてやるのが大切である。小さなことでも子どもを認め、ほめることを積み重ねてほしい。また、たくましい心の育成にも努めてほしい。 ・体験から学ぶことは大変意義がある。今後も様々な体験活動を組み込んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科を要として「書く活動や伝え合う活動」を重視した授業は、コミュニケーション力や生きる力の源となるものであり、今後もより一層推進することを期待する。

3 その他のご意見

・先生方の職務の多忙化に伴い、働き方改革が叫ばれていることは承知しているが、先生方が子供と触れあう時間が少ないように感じる。提出物等の確認で休憩時間もお忙しいのはわかるが、子どもと遊び時間や触れ合う時間を確保してもらえれば、違う角度からのアプローチも可能であるように感じる。